事務事業評価シート　令和　2　年度事後評価・決算

令和　4　年　2　月　10　日時点

所管課	高齢者福祉課	担当班	高齢者班

事務事業名	コード	74900	配食サービス事業	予算科目	会計	款	項	目
					介護	5	4	1

施策体系					
基本施策	26	高齢者福祉の充実	根拠法令	旭市配食サービス事業実施要綱	
施策の展開	54	見守り体制の構築	戦略事業	231	配食サービス事業
施策の展開			戦略事業		

事業種別
- ☑ 主な事業
- ☐ 国土強靭化地域計画
- ☑ 新市建設計画
- ☐ 定住自立圏構想
- ☐ 主要事業

(1)事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容　※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
☑ 単年度繰返 ☑ 平成 18 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 ＿ 年度～ 令和 ＿ 年度まで	●日常生活に支障がある在宅の65歳以上高齢者（独居及び高齢者のみの世帯又は、高齢者及び心身に障害のある者のみの世帯）で、調理が困難な者に昼食時に平日5日のうち、週3回を限度とした配食サービスを行うことにより、高齢者の健康保持と安否確認を行う。 委託先：薄田商店　寿宅食サービス（平成26年度より委託業者変更） ●利用料　1食300円

③事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④事務事業に関する課題・環境の変化	⑤事務事業に対する住民からの意見等
・平成13年9月：旧旭市で事業開始（利用者　90人　5,386食） ・平成17年は旧旭市内のみ実施 ・平成18年から市内全域で開始 調理困難な高齢者に対して栄養改善と健康保持を目的として開始。	・ひとり暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯の増加により配食サービスの利用者が増加している。 ・平成22年要綱改正（週5回から週3回） ・平成26年度より委託業者を変更	・利用者から「おいしい」、家族から「介護の負担が減る」、「助かる」といった意見がある。 ・「口座からの引落しはできないのか」との意見がある。

(2)コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細（2年度の決算）		単位：千円
1.印刷製本費	16	納入通知書発送用封筒代
2.通信運搬費	139	納入通知書発送用郵便代
3.手数料		
4.委託料	16,696	配食サービス委託料
5.償還金		償還金

② 特定財源の内訳（2年度の決算）		単位：千円
1.国庫支出金	3,404	地域支援事業交付金
2.都道府県支出金	1,702	地域支援事業交付金
3.地方債		
4.その他	9,897	地域支援事業繰入金・配食サービス事業利用収入

前年度増減理由	サービス利用者の配食利用数が増加したため。

		単位	29年度（決算）	30年度（決算）	1年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）
事業費 費目内訳	1. 印刷製本費	千円	13	13	13	16	24
	2. 通信運搬費	千円	126	137	152	139	207
	3. 手数料	千円					
	4. 委託料	千円	13,675	13,604	15,885	16,696	19,320
	5. 償還金	千円			10		
	事業費計（A）	千円	13,814	13,754	16,060	16,851	19,551
財源	1. 国庫支出金	千円	2,543	2,501	3,090	3,404	3,832
	2. 都道府県支出金	千円	1,272	1,250	1,545	1,702	1,904
	3. 地方債	千円					
	4. その他	千円	8,565	8,505	9,578	9,897	11,564
	5. 一般財源	千円	1,434	1,498	1,847	1,848	2,251

従事職員数	常時 1 人	最大 ＿ 人 × ＿ 日 ＝ 延べ ＿ 人

(3)事務事業の手段・目的と対応する指標

手段

① 主な活動

2年度実績（2年度に行った主な活動）
日常生活に支障がある在宅の65歳以上高齢者（独居及び高齢者のみの世帯又は、高齢者及び心身に障害のある者のみの世帯）で調理のできない者に昼食時、週3回を限度とした配食サービスと安否確認とを行う。
利用者へ利用料の納付書を発行。

③ 活動指標名		単位	29年度（実績）	30年度（実績）	1年度（実績）	2年度（実績）	3年度（計画）
ア	利用人数	人	244	231	266	261	300
イ	年間配食総数	食	18,233	18,139	20,025	20,870	24,150

目的

② 対象・意図（対象がどのような状態になるのか）

対象	65歳以上で市内に住所があり、、日常生活に支障がある一人暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯と高齢者及び障がい者のみの世帯の高齢者
意図	栄養バランスのとれた弁当を食べて、健康が保持される。
対象	65歳以上で市内に住所があり、、日常生活に支障がある一人暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯と高齢者及び障がい者のみの世帯の高齢者
意図	安否確認がされ、安心した生活を送ることができる。

④ 成果指標名		単位	29年度（実績）	30年度（実績）	1年度（実績）	2年度（実績）	3年度（計画）
ア	配食サービス利用率（利用者／申請者）	%	98.0	100.0	97.1	97.1	100.0
イ	安否確認を行った割合	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(4)事務事業優先度評価の結果

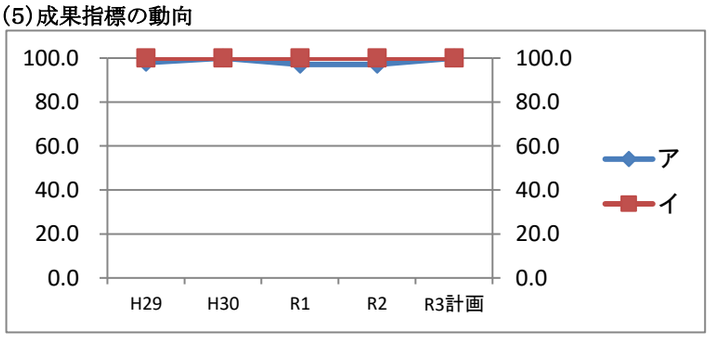
①成果優先度評価結果

施策貢献度 ＼ 成果向上余地	かなりある	ある程度ある	ほとんどない
大きい		②	
普通			
小さい			

②コスト削減優先度評価結果

成果優先度 ＼ コスト比率	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
①			
②③	(2)		
④⑤⑥			
⑦⑧⑨			

(5)成果指標の動向



(6)事務事業に関する評価

評価内容		
① 進捗状況	☐ 完了　☐ 順調　☑ 概ね順調　☐ 停滞　☐ 実施困難	
【コメント】（停滞・未実施・実施困難の場合、その理由）		
② 成果の状況	成果指標ア　成果指標のタイプ　↗　数値増＝成果向上　☐ 向上　☑ 横ばい　☐ 低下	
	成果指標イ　↗　数値増＝成果向上　☐ 向上　☑ 横ばい　☐ 低下	
【コメント】（低下の場合、その理由）		

成果動向 比較	28年度 29年度	29年度 30年度	30年度 1年度	1年度 2年度	2年度 3計画
ア	0.3	2.0	△2.9	0.0	2.9
イ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

③ 今年度取組事項（3年度に取り組む主な事項について記載）	時期	内容	今後の方向性
	R3.8月	利用料支払方法の多様化を検討する。	☐ 拡大　☑ 現状維持　☐ 見直し ☐ 縮小　☐ 廃止・休止　☐ その他（　　）